

消化器内科医のストレスと 燃え尽きについての調査

さ とう しゅう いち¹⁾ み やけ たつ や¹⁾
佐 藤 秀 一¹⁾ 三 宅 達 也¹⁾
もり しん じ²⁾ きの した よし かず¹⁾
森 真 爾²⁾ 木 下 芳 一¹⁾

キーワード：ストレス度，やる気度，燃え尽き度，
SACL (Stress Arousal Checklist)

要 旨

【目的】医師の感じているストレス等についての現状を明らかとするため，以下の調査を行った。

【対象と方法】島根大学医学部第二内科に関連のある消化器内科医61名（診療所開設者10名，病院勤務28名，大学医学部勤務23名），対照として医師以外の就労者106名を用いた。ストレス度とやる気度の測定には SACL 調査表を用いた。回収した調査表からストレス度，やる気度，燃え尽き度を計算した。

【結果】ストレス度と燃え尽き度の間には正の相関が，ストレス度とやる気度，燃え尽き度とやる気度の間には負の相関がみられた。医師と医師以外のストレス度等については有意な差はなく，やる気度は診療所開設医師のやる気度が最も高く，次いで病院，大学医学部の順であったが統計学的な有意差には至らなかった。

【結論】今回の調査より，医師の中では，病院，大学勤務の医師のストレス度，燃え尽き度は高く，やる気度は低かったが，他職種との比較で大きな差はなかった。

はじめに

日本においては，優れた医療制度がしかれ，良好な医療が低コストで提供されてきた。しかし，最近の我が国の経済的な停滞と医療の消費者であ

る患者の医療の安全性へのさらなる期待により，より高度な医療と経済性と安全性，完璧性への追求が行われている。このため医療現場では休むことのない医療コストの削減が医療保険点数の減額をカバーするべく行われ，同一の医業取得を得るために，より高密度，高精度の業務が必要となっている。さらに医療安全への期待は，その期待が満たされなかった場合には医療訴訟として表れ，

Shuichi SATO et al.

1) 島根大学医学部第二内科 2) 森医院

連絡先：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1